

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 平成 26 年度代議員総会 議事録

日 時：平成 26 年 6 月 4 日(水)

14 時 45 分～ 17 時 00 分

場 所：名古屋国際会議場 レセプションホール

議長を選任

定款第 17 条に基づき、出席正会員の中から加賀谷齊正会員が議長に、藤原俊之正会員が副議長に選任された。

出席人数の確認

議長から、代議員総数 294 名、出席代議員数 202 名、委任状提出者数 78 名、合計 280 名で、定款第 19 条第 1 項に定める総代議員の議決権に必要な要件を満たし、代議員総会が成立する旨宣言された。

議事録署名人の選出

定款第 21 条第 2 項に基づき、議事録への記名押印を議長及び出席理事の中から石川誠理事、上月正博理事を選出した。

議 題

I. 報告事項

1) 理事長報告

水間理事長から、平成 25 年度における財政問題を中心に報告が行われ、さらに別冊資料に基づき平成 26 年度事業計画及び平成 26 年度収支予算について報告が行われた。

2) 平成 25 年度事業報告及び各種委員会報告

才藤副理事長から、平成 25 年度事業活動について別冊資料に基づき報告が行われた。引き続き水間理事長から、各種委員会及びリハビリテーション科専門医会並びにリハビリテーション科女性医師ネットワークの活動状況について、別冊資料に基づき報告が行われた。

3) その他

水間理事長から、配布資料に基づき、平成 25 年度医師以外入会認定者及び平成 26 年度専門医審査料の改訂について報告があった。

II. 審議事項

1) 理事及び監事の選任の件

水間理事長から、役員候補者及び役員候補者選出意向選挙の経過について報告が行われた。

引き続き理事候補者 20 名、監事候補者 3 名の信任投票が行われ、選挙管理委員長から、理事 20 名、監事 3 名が信任された旨報告があった。

選出された理事及び監事は次のとおりであり、いずれも就任を承諾した。

(理事)

浅見豊子、安保雅博、石川 誠、出江紳一、久保俊一、上月正博、近藤和泉、才藤栄一、佐浦隆一、志波直人、島田洋一、白倉賢二、菅本一臣、千田益生、帖佐悦男、椿原彰夫、道免和久、芳賀信彦、正門由久、水間正澄

(監事)

朝貝芳美、木村彰男、田島文雄

2) 平成 25 年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認の件

平成 25 年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録について、出江副理事長から別冊資料に基づき説明が行われた。

引き続き監事を代表して住田監事から、平成 25 年度事業報告等の監査、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査を行った結果、適正に処理されていると認めるが、口頭での追加意見として、理事会は常に財務状況を的確に把握し、適宜遅滞なく対応すべきであるとの監査報告が行われ、本件は原案どおり承認された。

3) 会費値上げ及び定款施行細則一部改正の件

水間理事長から、正会員会費値上げ案について配布資料に基づき説明があり、引き続き事務局長から補足説明があった後、採決が行われた。

採決の結果、会費値上げ案を承認する者 280 名、承認しない者 5 名で、本件は原案どおり承認された。

引き続き椿原副理事長から、会費値上げ案の承認に伴い、定款施行細則の関連改正を行う旨の報告があった。

4) 代議員選挙に関する規則一部改正の件

椿原副理事長から、定款の変更案について、配布資料に基づき説明があり、原案どおり承認された。

5) 基本財産及び特定資産に関する規則制定の件

椿原副理事長から、公益法人化に伴い公益事業基金に関する規則を廃止し、基本財産及び特定資産に関する規則を新たに制定する案について、配布資料に基づき説明があり、原案どおり承認された。

6) 第 54 回（平成 29 年開催）学術集会会長指名の件

水間理事長から、第 54 回学術集会会長候補者に

について、理事会で協議した結果、椿原彰夫先生（川崎医療福祉大学学長）が推薦された旨の報告があり、原案どおり承認された。

7) 会費を2年以上滞納した者の扱いの件

才藤副理事長から、会費を2年以上滞納した者については定款第11条第2項により会員の資格が喪失する旨の説明あり、承認された。なお、事務局受付に該当者の名簿を設置しているので、確認して納入を促して欲しい旨要請があった。

8) 名誉会員承認の件

水間理事長から、定款第5条第2項第2号に基づき、田中信行会員を名誉会員に推薦することを理事会で決定した旨の報告があり、原案どおり承認された。

9) 功労会員承認の件

水間理事長から、定款第5条第2項第3号に基づき、配布資料に記載の11名の会員を功労会員に推薦することを理事会で決定した旨の報告があり、原案どおり承認された。

10) Corresponding Member について

水間理事長から、定款第5条第2項第5号に基づき、配布資料に記載の3名を特別会員（Corresponding Member）に推薦することを理事会で決定した旨の報告があり、原案どおり承認された。

以上

【別冊資料】

平成25年度 事業報告

（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

1. 会員現況

	平成26年 3月31日	平成25年 3月31日	増減
会員総数	9,998名	9,823名	175名
医師	9,809名	9,637名	172名
医師以外	189名	186名	3名

（名誉会員・功労会員含）

入会 589名

退会 414名

物故会員（敬称略）

前田 恭彦、伊藤 裕夫、田中 信幸、小林 邦雄、谷川 精一、井上謙次郎、片山昭太郎、佐野 耕三、平井 夏樹、町田 拓也、和田 耕一、西角 智子、多田 幸信、阿部 純久、金澤 淳則、須藤 容章、

山本 英正、遠藤 紀、仁木 厚、菊池 章、安部 龍秀、山口博一郎、田島 規子、宮崎 正万、浦屋 淳、公文 康、長久 雅博、池田 雄二、森 良樹

2. 役員、代議員、各種委員会委員

役員：理事20名（うち、理事長1名 業務執行理事3名）監事3名、幹事3名

代議員：294名

各種委員会委員：編集委員会10名、評価・用語委員会8名、教育委員会10名、資格認定委員会6名、施設認定委員会5名、試験委員会15名、診療ガイドライン委員会7名、社会保険等委員会13名、障害保健福祉委員会7名、関連機器委員会7名、関連専門職委員会5名、会則検討委員会5名、広報委員会7名、国際委員会5名、データマネジメント委員会8名、システム委員会6名

3. 学術集会の開催について

1) 第50回日本リハビリテーション医学会学術集會を、平成25年6月13日、14日、15日の3日間、東京国際フォーラムに於いて開催した。

2) 第8回専門医会学術集會を、平成25年11月9日、10日の2日間、札幌市教育文化会館に於いて開催した。

4. 諸会議

1) 代議員総会の開催：平成25年6月12日

2) 理事会の開催：第1回 平成25年4月27日

第2回 平成25年6月12日

第3回 平成25年7月27日

第4回 平成25年9月7日

第5回 平成25年11月16日

第6回 平成26年1月25日

第7回 平成26年3月15日

3) 地方会総会・学術集会の開催

(1) 北海道地方会

○第27回北海道地方会

開催日 平成25年4月20日

開催場所 札幌医科大学記念ホール

出席者数 59名

○第28回北海道地方会

開催日 平成25年9月14日

開催場所 北海道大学医学部学友会館「フラテ」

出席者数 53名

(2) 東北地方会

○第34回東北地方会

開催日 平成25年10月5日

- 開催場所 エスポワールいわて2階大中ホール
出席者数 94名
- 第35回東北地方会
開催日 平成26年3月1日
開催場所 まなウェルみやぎ3階第1・2研修室
出席者数 100名
- (3) 関東地方会
- 第55回関東地方会学術集会
開催日 平成25年9月14日
開催場所 山梨県立図書館多目的ホール
出席者数 131名
- 第56回関東地方会学術集会
開催日 平成25年12月14日
開催場所 慶應義塾大学信濃町キャンパス 北里記念医学図書館2階 北里講堂
出席者数 243名
- 第57回関東地方会学術集会
開催日 平成26年3月8日
開催場所 前橋テルサ
出席者数 127名
- (4) 北陸地方会
- 第34回北陸地方会総会
開催日 平成25年9月7日
開催場所 ホテル金沢
出席者数 64名
- 第35回北陸地方会総会
開催日 平成26年3月8日
開催場所 金沢大学病院宝ホール
出席者数 46名
- (5) 中部・東海地方会
- 第33回中部・東海地方会総会
開催日 平成25年8月31日
開催場所 エーザイ名古屋コミュニケーション
オフィス6階ホール
出席者数 114名
- 第34回中部・東海地方会
開催日 平成26年2月1日
開催場所 今池ガスビル7階
出席者数 85名
- (6) 近畿地方会
- 第35回近畿地方会学術集会
開催日 平成25年9月21日
開催場所 大阪大学中之島センター
出席者数 192名
- 第36回近畿地方会学術集会
開催日 平成26年3月8日
開催場所 京都府立医科大学付属図書館(図書館
館ホール)
出席者数 143名
- (7) 中国・四国地方会
- 第31回中国・四国地方会総会
開催日 平成25年7月7日
開催場所 島根県立産業交流会館(くにびき
メッセ)
出席者数 239名
- 第32回中国・四国地方会総会
開催日 平成25年12月8日
開催場所 岡山国際交流センター
出席者数 198名
- (8) 九州地方会
- 第34回九州地方会
開催日 平成25年9月8日
開催場所 長崎大学医学部記念講堂
出席者数 134名
- 第35回九州地方会
開催日 平成26年2月2日
開催場所 宮崎市民プラザオルブライトホール
出席者数 161名
- 4) 専門医会
- ①専門医会学術集会を1回開催した。
- ②専門医会総会2回(定例1回, 臨時1回)と幹事会を3回開催した。また, 幹事会専用掲示板で, 議論, 情報交換等を行った。
- 5) リハビリテーション科女性医師ネットワーク(RJN)
- ①リハビリテーション科女性医師ネットワーク世話人会を2回開催した。
- ②主な活動として, 女性医師ネットワークの位置づけ, 懇親会, RJNセミナー, インタビュー企画とその小冊子の作成を行った。
- 6) 各種委員会の開催
- | | |
|------------|-------------------------|
| ① 編集委員会 | 6回 |
| ② 評価・用語委員会 | 5回 |
| ③ 教育委員会 | 5回 |
| ④ 資格認定委員会 | 5回 |
| ⑤ 施設認定委員会 | 2回 |
| | (他メール審議4回) |
| ⑥ 試験委員会 | 16回 |
| | (筆記7回, 口頭5回, 筆記・口頭合同4回) |

- ⑦ 診療ガイドライン委員会 18回
- ⑧ 社会保険等委員会 5回
- ⑨ 障害保健福祉委員会 4回
- ⑩ 関連機器委員会 2回
- ⑪ 関連専門職委員会 2回
- ⑫ 会則検討委員会 7回
(全てメール審議)
- ⑬ 広報委員会 4回
- ⑭ 国際委員会 2回
- ⑮ データマネジメント委員会
(掲示板を活用した審議)
- ⑯ システム委員会 2回
(全てネット会議)

7) 特別委員会

- ① 50周年記念事業実行委員会
平成25年度2回(メール審議を含む)開催し、朝日新聞誌上討論会「脳卒中のリハビリテーションの展望」企画の共催名義使用許可願について委員会で検討を行い、50周年記念事業の一環で許可することとした。また、11月の委員会では、「50周年記念式典・祝賀会決算報告」、「50周年記念事業の経過と今後の計画について」、「国際シンポジウム」等の検討を行った。
- ② 専門医制度対策委員会
平成25年度5回開催し、基本研修プログラム、研修カリキュラム、研修プログラム作要領等の検討を行った。また、各研修施設から「研修プログラム」の提出を受け予備審査を行った。
- ③ 刊行物の在り方検討委員会
平成25年度4回開催し、本医学会の和文学会誌の今後の在り方、英文学会誌の導入についての検討を行った。

5. 辞令発送について

理事長名で辞令発送
各種委員会委員(特別委員等を含む) 116名

6. 後援、協賛等依頼

- 1) ヒューマンインタフェースシンポジウム2013
(ヒューマンインタフェース学会) 協賛
- 2) 39th World Congress of International Society of Medical Hydrology and Climatology
(一般社団法人日本温泉気候物理医学会) 後援
- 3) 第40回国際福祉機器展 H.C.R 2013
(社会福祉法人全国社会福祉協議会、一般財団法人保健福祉広報協会) 協賛

- 4) 平成25年度義肢装具等適合判定医師研修会
(厚生労働省) 後援
- 5) 平成25年度運動療法機能訓練技能講習会
(公益社団法人全国病院理学療法協会) 後援
- 6) 第28回保団連医療研究集会
(全国保険医団体連合会) 後援
- 7) 第28回リハ工学カンファレンス in いわて
(一般社団法人日本リハビリテーション工学協会) 協賛
- 8) 義肢装具 SIG 第9回講習会
(日本リハビリテーション工学協会義肢装具 SIG)
- 9) HOSPEX Japan 2013 (第42回日本医療福祉設備学会併設展示会)
(一般社団法人日本医療福祉設備協会、一般社団法人日本能率協会) 協賛
- 10) SIG 姿勢保持講習会 2013
(日本リハビリテーション工学協会 SIG「姿勢保持」) 協賛
- 11) 第48回日本理学療法士協会全国学術研修大会
(公益社団法人日本理学療法士協会) 後援
- 12) 被災地支援活動「心の絆プロジェクト」
(一般社団法人心の絆プロジェクト) 後援
- 13) 第36回総合リハビリテーション研究大会
(公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会) 後援
- 14) きょうされん第36回全国大会 in 東北・ふくしま
(きょうされん) 後援
- 15) 一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会平成24年度医師研修会 B コース
(一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会) 後援
- 16) 障害者医療問題全国ネットワーク第11回シンポジウム
(障害者医療問題全国ネットワーク) 後援
- 17) シンポジウム「モバイル'14」
(特定非営利活動法人モバイル学会) 協賛
- 18) リハビリテーション・ケア合同研究大会千葉2013
(一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協会、一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会、全国地域リハビリテーション研究会、一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会、一般社団法人全国デイ・ケア協会、全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会)

- | | | |
|---|----|--|
| | 後援 | 期日：平成 25 年 9 月 8 日～9 日・10 月 21 日 |
| 19) 第 35 回臨床歩行分析研究会定例会
(臨床歩行分析研究会) | 後援 | 会場：岡山シティホテル厚生町 2 階会議室 205
号室・岡山労働基準監督署会議室 |
| 20) 2013 年度てんかんを正しく理解する月間 (てんかん月間 2013)
(公益社団法人日本てんかん協会) | 協賛 | 受講者数：10 名 |
| 21) 第 63 回日本理学療法学会
(公益社団法人全国病院理学療法協会) | 後援 | ・小児のリハビリテーション実習研修会
期日：平成 25 年 9 月 12 日～13 日
会場：愛知県青い鳥医療福祉センター講堂
受講者数：33 名 |
| 22) 第 3 回日本がんりハビリテーション研究会
(日本がんりハビリテーション研究会) | 後援 | ・臨床筋電図・電気診断学入門講習会
期日：平成 25 年 9 月 28 日～29 日
会場：慶應義塾大学医学部信濃町キャンパス内
2 号館 11 階大会議室
受講者数：53 名 |
| 23) 第 4 回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 熊本
(日本訪問リハビリテーション協会) | 後援 | ・職業リハビリテーション研修会
期日：平成 25 年 10 月 6 日～7 日
会場：岡山国際交流センター・吉備高原医療リ
ハビリテーションセンター
受講者数：15 名 |
| 24) 第 49 回日本理学療法学術大会
(公益社団法人日本理学療法士協会) | 後援 | ・(平成 25 年度第 1 回) 嚙下障害実習研修会
期日：平成 25 年 10 月 5 日～6 日
会場：浜松市リハビリテーション病院・聖隷三
方原病院・聖隷浜松病院
受講者数：28 名 |
| 25) 第 35 回バイオメカニズム学術講演会
(バイオメカニズム学会) | 協賛 | ・福祉・地域リハビリテーション実習研修会
期日：平成 26 年 2 月 14 日～15 日
会場：横浜市総合リハビリテーションセンター
受講者数：23 名 |
| 26) 公益社団法人日本リウマチ友の会第 54 回全国大会
(公益社団法人日本リウマチ友の会) | 後援 | ・(平成 25 年度第 2 回) 嚙下障害実習研修会
期日：平成 26 年 3 月 8 日～9 日
会場：浜松市リハビリテーション病院・聖隷三
方原病院・聖隷浜松病院
受講者数：28 名 |
- 7. 会誌の発行**
会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」第 50 巻第 4 号～第 12 号，特別号 (抄録集)，第 51 巻第 1 号～第 3 号計 13 冊を発行した。
- 8. リハニュースの発行**
① 58 号 (平成 25 年 7 月号) より冊子から PDF 化した。
② 年 4 回発行した。(平成 25 年 4 月から第 57 号～第 60 号まで)
- 9. ホームページの管理・運営**
① HP の変更を計画していたが，予算縮減に伴い実施できなかった。
② 相互リンクについては随時更新ではなく年末に一括して委員会で審議・承認し年始より掲載とした。
③ HP の更新に係る経費削減のため，臨時更新を最小限にした。
- 10. 教育及び研修**
- | | |
|---------------------------|---|
| 1) 卒後実習研修会 | ・脊損尿路管理研修会
期日：平成 25 年 12 月 7 日～8 日
会場：海南医療センター
受講者数：22 名 |
| ・義手・義足適合判定医師研修会アドバンスト・コース | |
| 2) 学術集会研修会 | 期日：平成 25 年 6 月 13 日～15 日
会場：東京国際フォーラム
受講者数：1351 名 |
| 3) 専門医会学術集会研修会 | |

- 期日：平成 25 年 11 月 9 日～ 10 日
 会場：札幌市教育文化会館
 受講者数：408 名
- 4) 病態別実践リハビリテーション医学研修会
- ・「骨関節障害」
 期日：平成 25 年 7 月 13 日
 会場：品川フロントビル会議室
 受講者数：112 名
 - ・「神経系障害」
 期日：平成 25 年 10 月 12 日
 会場：品川フロントビル会議室
 受講者数：131 名
 - ・「内部障害」
 期日：平成 26 年 2 月 15 日
 会場：品川フロントビル会議室
 受講者数：93 名
- 5) 生涯教育研修会
- 北海道ブロック
- ・期日：平成 25 年 4 月 20 日
 会場：札幌医科大学記念ホール
 受講者数：36 名
 - ・期日：平成 25 年 9 月 14 日
 会場：北海道大学医学部学友会館「フラテ」
 受講者数：33 名
 - ・期日：平成 26 年 3 月 1 日
 会場：札幌医科大学記念ホール
 受講者数：34 名
- 東北ブロック
- ・期日：平成 25 年 9 月 8 日
 会場：秋田県総合保健センター 2 階大会議室
 受講者数：22 名
 - ・期日：平成 25 年 10 月 5 日
 会場：エスポワールいわて 2 階大中ホール
 受講者数：69 名
 - ・期日：平成 26 年 3 月 1 日
 会場：まなウェルみやぎ 3 階第 1・3 研修室
 受講者数：59 名
- 関東ブロック
- ・期日：平成 25 年 9 月 14 日
 会場：山梨県立図書館多目的ホール
 受講者数：62 名
 - ・期日：平成 25 年 10 月 5 日
 会場：新潟大学医学部第 1 講義室
 受講者数：23 名
 - ・期日：平成 25 年 12 月 14 日
 会場：慶應義塾大学信濃町キャンパス北里記念
 医学図書館 2 階北里講堂
 受講者数：132 名
- ・期日：平成 26 年 3 月 8 日
 会場：前橋テルサ
 受講者数：59 名
- 北陸ブロック
- ・期日：平成 25 年 9 月 7 日
 会場：ホテル金沢
 受講者数：46 名
 - ・期日：平成 26 年 3 月 8 日
 会場：金沢大学病院宝ホール
 受講者数：27 名
- 中部・東海ブロック
- ・期日：平成 25 年 8 月 31 日
 会場：エーザイ名古屋コミュニケーションオン
 フィス 6 階ホール
 受講者数：115 名
 - ・期日：平成 25 年 9 月 14 日
 会場：静岡コンベンションアーツセンターグラ
 ンシップ
 受講者数：43 名
 - ・期日：平成 26 年 1 月 18 日
 会場：江崎ホール
 受講者数：26 名
 - ・期日：平成 26 年 2 月 1 日
 会場：今池ガスビル 7 階
 受講者数：89 名
- 近畿ブロック
- ・期日：平成 25 年 6 月 1 日
 会場：神戸大学医学部会館シスメックスホール
 受講者数：52 名
 - ・期日：平成 25 年 6 月 29 日
 会場：社会医療法人大道会森之宮病院 2 階ウッ
 デイホール
 受講者数：90 名
 - ・期日：平成 25 年 9 月 21 日
 会場：大阪大学中之島センター
 受講者数：125 名
 - ・期日：平成 25 年 11 月 2 日
 会場：薬業年金会館（大阪薬業厚生年金基金）
 301 号室
 受講者数：81 名
 - ・期日：平成 25 年 11 月 10 日
 会場：京都府立医科大学図書館ホール

受講者数：49名

・期日：平成25年11月16日

会場：三宮研修センター

受講者数：61名

・期日：平成26年3月8日

会場：京都府立医科大学付属図書館（図書館ホール）

受講者数：74名

中国・四国ブロック

・期日：平成25年6月22日

会場：高新文化ホール（7階）

受講者数：44名

・期日：平成25年7月7日

会場：鳥根県立産業交流会館（くにびきメッセ）

受講者数：70名

・期日：平成25年12月8日

会場：岡山国際交流センター

受講者数：114名

・期日：平成26年3月8日

会場：高知城ホール2階大会議室

受講者数：34名

九州ブロック

・期日：平成25年9月8日

会場：長崎大学医学部記念講堂

受講者数：84名

・期日：平成26年2月2日

会場：宮崎市民プラザオルブライトホール

受講者数：88名

11. 専門医、認定臨床医の認定

1) 平成25年度専門医認定者数	79名
平成26年3月末現在	2,002名
2) 平成25年度認定臨床医認定者数	76名
平成26年3月末現在	3,445名

12. 指導責任者の認定

平成25年度指導責任者認定者数	126名
平成26年3月末現在	1,045名

13. 研修施設の認定

平成25年度研修施設認定数	53施設
平成26年3月末現在	574施設

14. 学術研究助成

- ①本学会誌に掲載された論文のうち優秀な論文を表彰した。
- ②若手研究者への国際学術交流の一環として海外研修助成を行った。
- ③専門医会研究補助金対象者に補助金を交付し助成

支援を行った。

15. 市民公開講座の開催

平成25年度市民公開講座を9月29日に堺市（大阪労災病院）、11月2日佐賀市（佐賀大学医学部附属病院臨床大講堂）で開催した。

■ 編集委員会報告

担当理事：川平和美

委員長：橋本圭司

委員：伊佐地隆、菅本一臣、鈴木康司、道免和久、中村純人、馬場 尊、原 寛美、馬庭壯吉、渡邊 修

1. 委員会の開催

本年度6回の委員会を開催した。（うち1回は論文賞選考委員会を兼ねる）

2. 活動内容

1) 学会誌刊行の状況

平成25年1月から12月の間に The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 第50巻1号から12号の計12冊が発行された。また、第50回日本リハビリテーション医学会学術集会抄録集を学術集会事務局と共同で、学会誌特別号として発行した。

2) 論文投稿・審査・掲載の状況

(1) 平成25年1月から12月の間の依頼原稿2編を除く投稿原稿は33編で、このうち17編を採用、8編を修正後再審査、8編を不採用とした。なお、取り下げ原稿はなかった。

(2) 第50巻の掲載論文は、原著10編、短報6編、症例報告4編、総説11編の計31編であった。

3) 利益相反のある論文について

第50巻3号掲載の12029論文において、上記の理事報告の通り、委員長と担当理事の判断で、著者が希望している利益相反の記述を掲載することとした。

4) 予算の削減について

編集委員会に関しては、学会誌刊行に関わる予算の緊縮が求められたが、委員会で協議する時間が無かったため、川平和美担当理事、橋本圭司委員長、道免和久委員（刊行物の在り方検討委員会委員長）で協議し、以下の修正を行い、新たな予算見積（約200万を減額）を事務局に提出した。①合併号の刊行を2回：送料を節減、②ページ数の削減：公示の記載法を変更、地方会抄録を本文400字、③公示の紙質変更；黄色から白色へ、④英文ジャーナルの刊行の経費削減；準備期間が1年程と見込まれるため、実際のスケジュールに合わせて見積を修正。当初積算額（先に提出した案）から計算すると、学誌発行費38,758,900円

を 29,504,000 円へ約 930 万円を削減した。なお、学会抄録費は別建てになっている。

5) 優秀論文賞の対象に関する内規の変更

非学会員の学会誌への投稿を認めたことに伴い、優秀論文賞の受賞対象に非学会員を含める内規の変更が承認された。

6) 編集委員会委員の交代について

2014年3月31日、原 寛美委員、馬庭壯吉委員、伊佐地隆委員の3名が任期満了を迎える。また、橋本圭司委員長については、2014年9月30日が任期満了の予定であるが、自身の病院業務の都合により委員長の継続が困難と判断され、他の委員同様、2014年3月31日付で辞任することとなった。

7) 新編集委員長について

本年度末で、橋本委員長を含め4名の編集委員が交代となる。また、『刊行物あり方委員会』の方針で、英文電子ジャーナルの開設や和文誌の大幅改革が行われる予定である。以上を踏まえて、この改革を中心に進めることができるのは道免和久委員が適任である。道免委員に来年度からの委員長就任を打診したところ、承諾を得た。

8) 論文賞選考

論文賞選考内規に基づき、平成26年2月21日の論文賞選考委員会における審議により、最優秀論文賞、優秀論文賞、奨励論文賞の各賞を選定し、役員会に報告した。

2 評価・用語委員会報告

担当理事：志波直人

委員長：太田喜久夫

委員：水尻強志，泉 従道，股 祥洙，大沢愛子，高倉朋和，関 聡介，高橋真紀

1. 委員会の開催

平成24年度に引き続き8名の委員で対応した。委員会は5回開催したが、そのうち1回はメール審議とし、3回は学術総会、専門医会、専門医試験日に実施し、委員の交通費節減に努めた。

2. 活動内容

1) Web 版リハビリテーション医学用語事典の運用

リハビリテーション医学用語集第7版をもとに、平成22年度よりWeb版リハビリテーション医学用語事典（略称、Web版リハ用語事典）が運用されており、用語解説の登録認証作業を継続した。また、毎月のアクセス数と用語解説登録数をもとに利用状況を確認した。またWeb版リハ用語事典の用語解説についての

広報や用語の単位登録を実施し、現在、728語の用語解説が登録されている。

改訂第8版にむけて、Web版リハ用語事典の用語の検討を継続した。重複する用語、かな表記、英語表記の問題点について委員で分担して訂正し、評価法データベースで頻用されている評価用語を追加した。

2) 50周年企画として、患者家族向けの用語解説を一般市民に公開できるようにシステムを改修した。

3) 評価用語委員会がICD-11の改訂作業に関与し、委員会としての意見を日整会を介して、リハ関連部分についてWHOに提案した。

4) 会員からのリハビリテーションにおける「介入」の用語使用についての意見に対して委員会で協議し対応した。

5) 評価法データベース

リハ医学・医療における評価法の動向を知るため、関連・洋総合誌（7雑誌）の投稿論文で用いられた各種評価法を抽出し、データベース化してきた。平成24年度以降は評価法データベースを学会HP上から閲覧・検索できるようにし、アクセス数の集計とともに隔年度でデータ集積を継続している。

6) 日本医学会用語委員会分科会としての活動

日本医学会用語委員会に参加し、連携して医学用語の改定のすり合わせ作業を継続している。日本医学会医学用語集Web版の利用について引き続きHPで広報した。

7) その他

リハニュース、日本リハ医学会HPで委員会活動について広報を行った。

3 教育委員会報告

担当理事：石合純夫（育成担当）

正門由久（生涯教育担当）

委員長：羽田康司

副委員長 兼 病態別研修会小委員長：小林一成

委員：石井雅之，大塚友吉，片岡晶志，川上寿一，瀬田 拓，高田信二郎，野々垣学，補永 薫

年度内交代委員：池田 聡

1. 委員会の開催

本年度は5回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 病態別実践リハビリテーション医学研修会

会員のための研修会として、研修会小委員会の実務のもと、以下の3病態のリハビリテーション研修会を企画、開催した。

- a) 「骨関節障害」 7月13日
於：品川フロントビル会議室 受講者 112名
- b) 「神経系障害」 10月12日
於：品川フロントビル会議室 受講者 131名
- c) 「内部障害」 2月15日
於：品川フロントビル会議室 受講者 93名
- 2) 実習研修会
9種類 10回の実習研修会を共催した。
- (A) 第17回義手・義足適合判定医師研修会アドバンス・コース 9月8～9日 & 10月21日
於 岡山国際交流センター他 受講者 10名
- (B) 第11回小児のリハビリテーション実習研修会
9月12～13日
於 愛知県青い鳥医療福祉センター 受講者 33名
- (C) 第16回臨床筋電図・電気診断学入門講習会
9月28～29日
於 慶應義塾大学病院 受講者 53名
- (D) 第8回および9回嚙下障害実習研修会
10月5～6日 & 3月8～9日
於 浜松市リハビリテーション病院 & 聖隷三方原病院 受講者 第8回 28名 第9回 28名
- (E) 第20回職業リハビリテーション研修会
10月6～7日
於 岡山国際交流センター 受講者 15名
- (F) 第14回脊損尿路管理研修会 12月7～8日
於 海南医療センター 受講者 22名
- (G) 第3回医療コミュニケーション実習研修会
2月1～2日
於 銀座 ACT プラザ 受講者 27名
- (H) 第8回福祉・地域リハビリテーション実習研修会
2月14-15日
於 横浜市総合リハビリテーションセンター 受講者 23名
- (I) 第6回動作解析・運動学実習研修会
3月27～29日
於 藤田保健衛生大学 受講者 19名
- 3) 医学生・研修医リハビリテーションセミナー
- (1) 79施設より開催の申し出があり、春期・ゴールデンウィークは6施設 21名、夏期は10施設 29名の参加があった。
- (2) 参加学生のあった施設にセミナーに関するアンケートを実施した。
- (3) 参加学生の感想文をリハニュースおよび学会ホームページに掲載した。
- (4) 平成26年開催に向けて全研修施設に開催の協力を募っている。
- (5) チラシによる広報を行い、全国の医学部リハ担当者等に送付した。
- 4) 専門医・認定臨床医生涯教育研修会
- (1) 2-f, 2-gの単位申請期間の短縮化(4カ月前から3カ月前へ)を図り新システムを稼働した。
- (2) 生涯教育の履修項目およびその単位付与について全般的な検討を行い、まず年次学術集会および専門医学会学術集会における教育講演単位取得の上限を拡大する案(それぞれ4→5講演, 3→4講演)を理事会に提出した。
- (3) 細則2)-e号に該当する関連学会、研究会の申請6件の審査を行った。
- (4) 細則2)-f号に該当する研修会、研究会等の55件の審査を行った。
- 5) 一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会について
- (1) 平成25年4月14日に昭和大学で第2回研修会を開催した。
- (2) 平成26年1月26日に徳島病院で第3回研修会を開催した。
- 6) 病態別実践リハビリテーション医学研修会 DVDについて
- (1) 病態別実践リハビリテーション医学研修会で作成したDVDの販売状況について検討し、メール等で理事、評議員、認定施設等に購入を勧める活動を行った。
- 7) リハビリテーション科医育成アクションプランに関連して
- (1) 第4回専門医試験受験支援講座を企画し、第50回日本リハビリテーション医学会学術集会の会期中に開催した。
- (2) 新たに「初期研修医等医師向けリハビリテーション研修会」を企画し、第一回研修会を平成25年7月6日に品川フロントビル会議室で行った。
- 8) 専門医制度に関連して
- (1) 医療倫理・安全に関する講演を第50回日本リハビリテーション医学会学術集会の会期中に開催した。
- (2) 内規更新・指導医定義作成に応じて第一回指導医講習会を第51回日本リハビリテーション医学会学術集会で開催することとした。
- (3) 新専門医制度に対応した研修プログラムのフォーマットおよびモデルを作成し、また、研修カリキュラムの改訂を進めた。

4 資格認定委員会報告

担当理事：浅見豊子

委員長：佐伯 覚

委員：浅野由美，岡本さやか，下堂蘭恵，永野靖典，横山 修

1. 委員会の開催

平成 25 年度は年 5 回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 専門医の認定及び資格更新について

- (1) 専門医試験を実施し，専門医 79 名を認定した。
- (2) 専門医の資格更新審査を行い，105 名（認定臨床医資格の繰上げ更新を含む同時更新：52 名，専門医資格のみ更新：53 名），延長 3 名，資格保留 1 名であった。

現在の専門医数は 2,002 名（資格保留者を除く）である。

- (3) 専認構の公式見解に基づく専門医資格認定要件の改正案を作成した。

- (4) 試験当日に実施していた研修手帳の審査を事前に実施するなど，受験申請書類の審査業務の効率化を進めた。

- (5) 専門医試験受験申請情報の分析を行った。

2) 認定臨床医の認定及び資格更新について

- (1) 認定臨床医試験を実施し，認定臨床医 76 名（研修施設での 1 年以上の研修による：40 名，教育研修会・講演の受講と指導責任者の推薦による：36 名）を認定した。
- (2) 認定臨床医の資格更新審査を行い，資格更新 393 名，延長 2 名，資格保留 334 名，資格喪失 26 名，認定臨床医（終身）制度該当者 61 名であった。

現在の認定臨床医数は 3,445 名（資格保留者を除く）である。

3) 指導責任者の認定及び資格更新について

- (1) 指導責任者の申請を審査し，126 名を認定した。
- (2) 指導責任者の資格更新審査を行い，資格更新 480 名，延長 1 名，喪失 67 名であった。

現在の指導責任者数は 1,045 名（資格保留者を除く）である。

- (3) 平成 27 年度からの新制度移行に伴う実務の対応手順を検討した。

5 施設認定委員会報告

担当理事：田島文博

委員長：尾花正義

委員：小口和代，船越政範，美津島隆，和田恵美子

1. 委員会の開催

平成 25 年度は年 2 回の委員会を開催した。

なお，委員会とは別に，メール審査を 4 回実施した。

2. 活動内容

1) 研修施設の認定及び資格更新について

- (1) 研修施設の申請を審査し，53 施設を認定した。
- (2) 研修施設の年次・更新調査を行い，適格 541 施設，保留 2 施設，不適格 7 施設であった。

現在の研修施設数は 574 施設（資格保留施設を除く）である。

- (3) 研修施設 Web システムのマニュアル内容を一部改正した。

2) その他

- (1) 「基幹研修施設」・「関連研修施設」・「関連施設」について検討した。
- (2) 委員会の内規・申し合せの一部を修正した。

6 試験委員会報告

担当理事：白倉賢二，芳賀信彦

委員長：中馬孝容

委員：江口 清，加賀谷齊，笠原 隆，菊地尚久，木下 篤，小林宏高，佐藤新介，関 勝，中島英樹，長谷公隆，前野 崇，松本真以子，山中義崇，横井 剛

1. 委員会の開催

本年度は筆記担当委員会 7 回，口頭担当委員会 5 回，筆記・口頭合同委員会 4 回を開催した。

認定委員会と合同で専門医試験・認定臨床医試験後に K・V 委員会を開催した。

2. 活動内容

- 1) 平成 25 年度日本リハビリテーション医学会専門医試験の筆記問題 150 題を作成した。

- 2) 平成 25 年度日本リハビリテーション医学会専門医筆記試験（平成 26 年 3 月 6 日に実施）を実施した。

- 3) 平成 25 年度日本リハビリテーション医学会認定臨床医試験の問題 100 題を作成した。

- 4) 平成 25 年度日本リハビリテーション医学会認定臨床医試験（平成 26 年 3 月 6 日に実施）を実施した。

- 5) 平成 25 年度日本リハビリテーション医学会専門医口頭試験において標準問題を導入し，口頭試験の判定基準の再検討を行った。

- 6) 平成 25 年度日本リハビリテーション医学会専門医口頭試験（平成 26 年 3 月 7 日に実施）を実施した。

- 7) 平成 25 年度日本リハビリテーション医学会専門医試験・臨床認定試験合格者について判定した。
- 8) 平成 24 年度専門医試験問題・認定臨床医試験問題および解答の学会誌掲載を行った。
- 9) 学術集会において新作問題作成ワークショップを開催した。

7 診療ガイドライン委員会報告

担当理事：生駒一憲

委員長：辻 哲也

コア委員：藤原俊之，高橋秀寿，橋本茂樹，古澤一成，花山耕三

1. 委員会の開催

計 18 回の委員会を開催した（診療ガイドラインコア委員会 6 回，脳卒中治療ガイドライン策定委員会 4 回，リハビリテーション連携パス策定委員会 2 回，障害者体力評価ガイドライン策定委員会 1 回，神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会 3 回，がんのリハビリテーション策定委員会 2 回，電子会議を含む）。

2. 活動内容

1) 診療ガイドラインコア委員会

現在作成中で今後 4 年以内に完成が見込まれる診療ガイドライン（脳性麻痺・第 2 版，連携パス，体力評価，神経筋脊損リハ，がんリハ）および「がんのリハビリテーション懇話会」は本学会の 50 周年記念事業企画と位置づけられている。

脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会，リハビリテーション連携パス策定委員会，障害者体力評価ガイドライン策定委員会，がんのリハビリテーションガイドライン策定委員会は当面の使命を終えたことから，本年度で解散となる。各委員会の委員長は特別委員としてコア委員会に参加し，策定委員会解散後も問い合わせへの対応や改訂のための準備を行う予定。

2) 脳卒中治療ガイドライン策定委員会

脳卒中学会主導でガイドライン委員会を組織し各学会が参画，本学会策定委員会委員は脳卒中ガイドライン委員会（脳卒中学会）リハ部門の委員を兼務し，脳卒中ガイドライン委員会（脳卒中学会）園田茂班長が本学会策定委員会特別委員を兼務し両委員会間の連絡調整の役割を担う。文献収集作業・構造化抄録作成作業継続中。

3) 脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会

ガイドライン第 2 版の作成に向け作業を継続した。出版社は入札方式で選定され，金原出版に決定した。本学会会員からパブリックコメント募集の後，「脳性麻痺リハビリテーションガイドライン第 2 版」が，設立 50 周年記念事業実行委員会のカウントダウン企画として平成 26 年 1 月 23 日に出版された。

4) リハビリテーション連携パス策定委員会

「リハビリテーションと地域連携・地域包括ケア」の出版に向けた作業を継続した。出版社は入札方式で選定され，診断と治療社に決定した。設立 50 周年記念事業実行委員会のカウントダウン企画として平成 25 年 6 月 10 日に出版された。

また，出版と併せて，本学会会員に対して，地域連携パスや地域包括ケアに対するリハ医としての立場についてアンケート調査をする予定で，アンケートの原案作成中。

5) 障害者体力評価ガイドライン策定委員会

ガイドラインの作成に向けて脊髄損傷と脳血管障害のグループに分かれて作業を継続した。出版社は入札方式で選定され，金原出版に決定した。本学会会員からパブリックコメント募集の後，「障害者の体力評価ガイドライン」が，設立 50 周年記念事業実行委員会のカウントダウン企画として平成 25 年 6 月 18 日に出版された。

6) 神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会

ガイドラインの作成に向けて作業を継続した。総論・各論とも原案完成，出版社は入札方式で選定され，金原出版に決定した。本学会会員からパブリックコメント募集の後，設立 50 周年記念事業実行委員会のカウントダウン企画として，平成 26 年度第 51 回学術集会までに出版予定。

7) がんのリハビリテーションガイドライン策定委員会

ガイドライン作成に向け作業を継続した。出版社は入札方式で選定され，金原出版に決定した。本学会会員からパブリックコメント募集の後，「がんのリハビリテーションガイドライン」が，設立 50 周年記念事業実行委員会のカウントダウン企画として平成 25 年 4 月 30 日に出版された。本ガイドラインの英文翻訳版の作成作業は英文誌への投稿を視野に継続作業中。

また，がん治療学会がん診療ガイドライン jscop-cpg.jp 事業ヘリハビリテーション分科会として本学会が参画することが承認された。今後，ガイドラインの普

及・啓発のために、数多くの質の高いガイドラインが掲載されている医療情報サービス事業 Minds（公益社団法人日本医療機能評価機構）へ掲載される予定。

8 社会保険等委員会報告

担当理事：石川 誠，水落和也

委員長：川手 信行

委員：赤澤啓史，赤星和人，岩田 学，大塚健一，木村浩彰，小山照幸，近藤国嗣，菅原英和，杉原勝宣，田中宏太佳

年度内交替委員：稲川利光，大串 幹

1. 委員会の開催

本年度は平成 25 年 5 月 17 日，7 月 12 日，9 月 13 日，11 月 1 日，平成 26 年 3 月 7 日，計 5 回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 医療保険に関する活動

(1) 内保連関連

- ・例会，運営会議，呼吸器関連委員会，神経関連委員会，リハ関連委員会，検査関連委員会および在宅医療委員会に当委員会委員が参加し，平成 26 年度診療報酬改定の共同提案について他学会と話し合い，調整などを行った。
- ・リハ関連委員会において，座長学会として，平成 26 年度診療報酬改定に向けたリハ関連領域に関する意見交換を行い，関連学会・団体と共同提案に向けて調整を行った。
- ・内保連から，リハ医学会が主学会となり，技術料 6 項目（未収載 4 項目，既収載 2 項目），医療課長手渡し 3 項目を提案した。また，リハ関連委員会を構成する学会やその他の委員会学会と共同で，技術料 14 項目（未収載 4 項目，既収載 10 項目），医療課長手渡し 5 項目を提案した。
- ・内保連ヒアリングにリハ関連委員会の代表として参加し，提案書についての意見を述べた。

(2) 外保連関連

- ・総会，実務委員会，処置委員会，検査委員会，麻酔委員会に当委員会委員が参加し意見を述べた。
- ・平成 26 年度診療報酬改定に向けたリハ関連診療報酬に関する意見交換を行い，外保連より，リハ医学会から技術料 4 項目（未収載）を提案した。

(3) 厚生労働省医療課ヒアリング

厚生労働省医療課ヒアリングに参加し，平成 26 年度診療報酬改正の提案項目について説明し，意見を述べた。

(4) 「急性期病棟におけるリハ医師研修会」の準備

平成 26 年度診療報酬改定（平成 26 年 3 月発表）における，「急性期病棟におけるリハ専門職配置の評価（ADL 維持向上加算）」の施設基準の中で専任医師の研修要件が出され，研修会開催に向けて，準備を行った（現在進行中）。

(5) 急性期リハ関連職種実態調査 WG の活動

診療報酬改定の根拠となる資料を作成するため，小山委員が中心となり急性期リハ関連職種実態調査 WG において，活動調査を行われ，報告された。

(6) リハ医療関連団体協議会・診療報酬改定作業部会の活動

リハ医療関連団体協議会・診療報酬改定作業部会に当委員会委員が参加し，平成 26 年度診療報酬改定についての話し合いを行い，15 項目について同意し，厚生労働省保険局医療課へ提案した。

2) 介護保険に関する活動

(1) 介護報酬改定

介護報酬担当委員を中心に定例委員会で介護保険の現状を報告し，意見交換を行った。

(2) リハ医療関連団体協議会・診療報酬改定作業部会の活動

リハ医療関連団体協議会・診療報酬改定作業部会に当委員会委員が参加し，平成 27 年度介護保険改定リハ関連項目についてリハ関連団体（8 団体）と協議・議論し，意見調整を行った（現在進行中）。

3) がんのリハビリテーション研修会への協力

(1) がんのリハ研修運営委員会

がんのリハ研修運営委員会に，当委員会委員が 2 名が参加し，運営などについて意見交換を行った。

(2) がんのリハ研修会

がんのリハ研修会が日本理学療法士協会・作業療法士協会・言語聴覚士協会・がん看護学会・リハ看護学会とリハ医学会が共催で，6 月 1・2 日（東京），11 月 16・17 日（東京），1 月 25・26 日（東京）で行われ，当委員会委員が協力した。

9 障害保健福祉委員会

担当理事：水落和也

委員長：正岡 悟

委員：大隈秀信，大仲功一，大野重雄，角田 亘，榎本 修，下菌英史

1. 委員会の開催

本年度委員会を計 4 回開催した。4 月に 1 名の委員交代があった。

2. 活動内容

- 1) 社会参加推進のための障害者スポーツ
 - (1) 脳卒中と脊髄損傷分野で「障害者の体カ評価ガイドライン策定委員会」に参画，成果となる体力評価ガイドラインが出版された。
 - (2) 「日本障害者スポーツ協会」へ取材実施。取材内容をリハニュース第60号に掲載し，協会の活動内容，障害者スポーツ医資格等について情報提供を行った。
- 2) 地域リハビリテーション
 - (1) 地域包括ケアシステムについてリハ関連団体にアンケートを実施した。来年度，集計結果報告と代表的な団体へ地域包括ケアシステムへの関わりについての執筆依頼を予定。
 - (2) 介護支援専門員協会より本医学会向けのアンケート(案)を作成した。来年度実施予定。
 - (3) 地域包括ケア推進リハ部会に参画。地域包括ケアの中でリハビリテーションとして何ができるかをアピールする必要性について確認。本委員会よりも積極的に参画を続ける予定。
- 3) 福祉関連法制度
 - (1) 身体障害者手帳診断書作成についてのアンケート結果を会誌(JJRM) Vol.50 No.9に掲載。
 - (2) 補装具意見書作成についてのアンケート結果を会誌(JJRM) Vol.51 No.2に掲載。
 - (3) Web版「医療関係者のための福祉ハンドブック2013」を作成，学会ホームページにアップした。
- 4) ICF利用の検討
 - (1) ICFが実際にどのように利用されているかについて，文献渉猟結果を共有。今後ICF利用法のモデルについて検討予定。
- 5) リハニュース(RN)「委員会だより」で障害保健福祉関連情報を広報
 - (1) 新たに障害者総合支援法の対象となった難病患者等について情報提供(RN58号)
 - (2) 難病患者等への補装具・日常生活用具の公費支給について情報提供(RN59号)
 - (3) 2014年3月開催ソチパラリンピックについて情報提供(RN60号)

10 関連機器委員会報告

担当理事：朝貝芳美

委員長：高橋紀代

委員：江畑公仁男，加藤 剛，河村顕治，近藤健男，鈴木 禎，橋爪紀子

1. 委員会の開催

本年度は2回の委員会を開催した。

2. 活動内容

- 1) 関連機器データベース作成を目標に，リハビリテーション関連機器・福祉機器分類案を作成した。リハ学会HPの会員専用ページにリハ機器分類試案をPDFで掲載し，一般会員の意見を掲示板に書き込んでもらった。掲示板の意見やリハ学会事務局に直接届いた意見を委員会にて集約し，リハニュース57号～60号の委員会だよりにて掲載した。
- 2) 公益財団法人テクノエイド協会から依頼された「障害者総合福祉法に基づく「補装具費支給制度」全般に係る課題を把握するための調査」についてメール審議にて当委員会内で意見を募り，アンケートに回答した。
- 3) 厚生労働省の「医療ニーズの高い未承認医療機器等の早期導入に関する要望の募集」について，平成25年8月から9月30日までリハビリテーション科専門医にMLで広報した。会員より，未承認医療機器2品目の要望が挙げられ，委員会内のメール審議にて検討した。どちらも主要諸外国にて承認されているという基準に当てはまらなかったため，厚生労働省への提出には至らなかった。
- 4) 一般財団法人日本規格協会から「JISの見直し調査」を依頼された。委員会にて検討して，JIS「ストーマ用品に関する用語」については利害関係者(日本ストーマ排泄リハビリテーション学会)意見を踏まえて，JSAへ改正を提言した。JIS「ストーマ用品の試験方法」については，制定(1997年)より長期間経過している上，対応国際規格が改正されているため，改正を検討する必要があると回答することになった。また，利害関係者の意見は日本ストーマ排泄リハビリテーション学会に依頼することになり，現在回答待ちである。

11 関連専門職委員会報告

担当理事：朝貝芳美

委員長：武居光雄

委員：堀田富士子，中村純人，竹川 徹，萩野 浩

1. 委員会の開催

本年度は年2回(平成25年6月15日，平成25年11月22日)の委員会を開催した。

2. 活動内容

- 1) 関連専門職教育に関するリハ科専門医の役割についてのアンケート調査結果に基づき今後の方針を検

討し、専門医とリハ関連専門職養成校（大学も含む）とのマッチングを行うためにアンケート調査を行った。専門医に対しても講義等教育が可能か否かのアンケート調査結果をもとにシステム構築を行う予定。

- 2) 理学療法士・作業療法士養成施設等教員講習会に協力した。本年度から言語聴覚士もその対象に含めることになった。
- 3) 特定看護師について、情報収集・意見交換をした。
- 4) リハ医に望むこと、期待することに関して各職種（職能団体）へアンケート調査を行った。リハ科専門医及びリハ医学会と関連専門職種団体との良好な関係を築くことが重要であり、現在、アンケート結果をまとめている。
- 5) 他の職種との連携について

CP（臨床心理士）の国家資格化に関して、『医療心理師国家資格推進協議会』にリハ医学会として加盟した。日本心理研修センターが試験・登録機関に指定されることへの賛同および協力要請に対して情報を収集し役員会に諮り、リハ教育の拡充を条件に賛同することになった。また、他の国家資格のない職種をどうするか（例えばMSW）についても議論を行った。

厚生労働省が推し進めている地域包括ケアシステム構築に当たり、チーム医療を推進し、より良いリハ医療提供のためにリハ医がリーダーシップを取り、関連専門職とどのように協力すべきかについて、検討していく。

- 6) 小児高次脳機能障害に関して。

小児高次脳機能障害の実態調査が行われていない状況のため、現状把握のために大分県内にてプレリミナリー調査を行った。その結果を基に今後の取り組み方を検討している。

12 会則検討委員会報告

担当理事：上月正博

委員長：伊勢眞樹

委員：伊藤 修，近藤和泉，関 勝，染矢富士子

1. 委員会の開催

本年度はメールによる審議を7回開催した。

2. 活動内容

- 1) 「代議員選挙に関する規則」「指導医制度に関する内規」「医師以外の正会員の認定に関する内規」「理事会の人事に関する内規」「論文賞の先行と表彰に関する内規」「専門医の資格更新に関する申し合わせ」

等の各委員会、理事会にて改正された規則2件、内規8件、申し合わせ1件、計11件について、「会則に関する取り決め」に従って各会則の整合性の検討をメールによる審議を行った。審議の結果、各条の整合性の修正や文言の訂正を行い、各委員会、理事会へ回答した。

- 2) 6名の医師以外正会員の入会審査を当該内規に従い、メールによる審議を行い、理事会へ5名推薦し、1名不可とした。（なお、委員会で不可とした1名は、その後の理事会の審議で、医師以外の正会員の認定に関する内規改正の時期と重なったことから可と決定された。）

13 広報委員会報告

担当理事：安保雅博

委員長：佐々木信幸

委員：伊藤倫之，緒方敦子，數田俊成，小林健太郎，長谷川千恵子，森 憲司

1. 委員会の開催

本年度は年4回（平成25年4月12日，6月14日，9月13日，12月13日）開催した。

うち6月14日は、学術集会時に会場（東京国際フォーラム）内の会議室で実施。

2. 活動内容

- 1) リハニュースの発行

リハニュース58号からは郵送での発送は中止しPDF化した。またそれに伴いレイアウト変更を行った。また、PDFにしおり・目次を付与し、カラーの自由度も増やし読みやすくした。

57号：地方会新たなステージへ

58号：リハビリテーション看護

59号：日本リハビリテーション医学会50周年～これまでとこれからの50年～

60号：高次脳機能障害者の運転とてんかん

- 2) ホームページ運用

(1) HPの改変を目指していたが予算縮減に伴いpending.

(2) HPの更新にかかる経費削減のため、臨時更新を最小限にした。

(3) 相互リンクについては随時更新ではなく年末に一括して委員会で審査・承認し年始より開始とした。

- 3) その他

(1) 写真コンテストの選考を行い、大賞作品をリハニュース60号に発表、作品は今後改定を予定しているリハ医学ガイド等に使用する。

(2) ホームページに掲載している「市民のみなさまへ 主な疾患のリハビリ」の内容について全面的に見直し、改訂を行った。更新内容については理事会報告し最終決定。

14 国際委員会報告

担当理事：佐浦隆一

委員長：花山耕三

委員：青木隆明，松永俊樹，山田 深，吉田 輝

1. 委員会の開催

本年度は年2回の委員会を開催した。

第1回国際委員会 平成25年8月2日（東京 八重洲クラブ）

第2回国際委員会 平成26年3月7日（東京 会議するなら）

2. 活動内容

1) 海外研修助成プログラム

平成25年度海外研修助成プログラムとして、栗原由佳先生への助成を決定し、平成25年度内に海外研修（学会発表）が実施された。また、本年度は通常助成では応募者が定員に満たなかったため、追加募集を行った。

平成26年度海外研修助成プログラムについて、募集ならびに候補者の選定を行った。

2) 外国人リハ医師短期交流助成プログラム

平成25年度外国人リハ医師短期交流プログラムとして、Gihan Mohamed Ahmed Omar 先生（エジプト）の研修を助成し、平成25年度内に藤田保健衛生大学他で短期交流が実施された。

平成26年度外国人リハ医師短期交流助成プログラムは、H/Cメンバーへのannual report、英文ホームページにより募集を行い候補者の選定を行った。

3) Honorary/Corresponding Member との連携体制

Honorary/Corresponding Member へは、学会終了後に本学会の年間活動報告（総会資料抜粋：英語）、12月にグリーティングカードおよび記念品（50周年記念誌：日本語）を送付した。

4) Honorary/Corresponding Member の拡充

欧米やアジア地域のリハ医学会とその指導者の情報を集め、Honorary/Corresponding Member 候補の探索を行なった。Dr. Tai Ryoan Han (Seoul National University, College of Medicine, Korea) の Corresponding Member としての資格審査を行い、理事長に具申した。

5) 英文ホームページの充実

広報委員会と共同で英文ホームページの内容の見直し、刷新について作業を行った。

英文ホームページに学会組織図（英語）と「日本リハビリテーション医学会の歴史（英語）、出江紳一先生著」を掲載した。

6) その他

① 50周年記念事業について

第50回学術集会の記念シンポジウム「海外リハ交流医受入制度で来日したアジアのリハ医たち」のプログラム立案、シンポジスト選定、招聘などの準備を行った。

② リハニュースへの投稿

リハニュース57号、59号、60号に「委員会だより」を投稿した。

③ 各種問合せへの対応

国内外からの英文での問合せについて、必要に応じて対応した。

3. 委員の交代

平成25年3月31日付で池田聡委員が解嘱され、平成25年4月1日付で吉田輝委員が任命された。

15 データマネジメント委員会報告

担当理事：赤居正美

委員長：近藤克則

委員：菊地尚久，近藤和泉，佐伯 覚，田中宏太佳，藤原俊之，宮井一郎，宮越浩一

1. 委員会の開催

委員会を学会のシステムの掲示板を活用した審議を適宜行った

2. 活動内容

1) 日本リハビリテーション・データベース協議会に関わる論議

日本理学療法士協会，日本作業療法士協会，日本語聴覚士協会とともに，2012年9月4日に，日本リハビリテーション・データベース協議会（Japanese Association for Rehabilitation Database, JARD）を設立した。データベースの改訂や入力，共同研究などによる活用などの面における共同運用を開始しそれに関わる審議を行った。

2) 外部資金獲得の試み

厚生労働省の老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）に申請したが残念ながら不採択であった。厚生労働科学研究費補助金申請も検討したが研究代表者を確保できず申請を見送った。某製薬会

社から調査委託の打診があったが公益財団法人となった本学会の公益性との兼ね合いが問題とされ、検討の結果、共同研究とする可能性について打診をし、その方向が合意が得られつつある。

3) データマネジメント・システムの運用

データベースの改訂、データ登録、データを活用した調査研究など、従来からの運用に関わる事業を行った。

16 システム委員会報告

担当理事：赤居正美

委員長：伊藤倫之

委員：羽田康司，馬場 尊，小口和代，近藤和泉，今井晋二

特別委員：園田 茂，山田 深，加賀谷齊

年度内交替委員：船越政範，笠井史人（特別委員）

1. 委員会の開催

委員会をインターネット会議として2回開催した（2013.4.1-4.23, 4.24-7.21）。

2. 活動内容

1) システムの改良

天災等の災害によるシステム障害予防のためレンタルサーバー（株式会社NTT PC Communications）を契約し、自動バックアップのプログラム作成を行い、学会システムのバックアップを開始した。

2) システム運営

システムに関する機能調整を各委員会と行った。

- ・専門医会の筋電図・臨床神経生理 SIG を設立した。同 SIG の掲示板（コアメンバー用、全体用）を設置した。
- ・ICF core set 翻訳ワーキンググループの掲示板を立ち上げた。

3) システムの普及活動

第51回学術集会の演題登録においても、会員用 Web システムのトップページ（お知らせ欄）を経由して行う仕組みにしてもらい、会員のシステム登録を促した。

4) システム登録者数

平成 26 年 3 月 31 日現在、6,480 名である。

平成 25 年度日本リハビリテーション医学会 専門医会報告

—総会・学術集会・幹事会—

担当理事：椿原彰夫

幹事長：近藤和泉

副幹事長：大串 幹，笠井史人

幹 事：青柳陽一郎，大田哲生，下堂蘭恵，中村健，平岡 崇，藤原俊之，八幡徹太郎

1. 総会，学術集会，幹事会の開催

本年度は総会 2 回（定例 1 回，臨時 1 回），学術集会 1 回，幹事会 3 回を開催した。その他，幹事会専用掲示板にて議論，情報交換等を行った。

2. 活動内容および報告

1) 総会（平成 25 年 6 月および 11 月）

平成 25 年 6 月 14 日の第 50 回日本リハビリテーション医学会学術集会中に臨時総会を開催した。議題は①第 8 回リハビリテーション科専門医会学術集会準備状況，②第 9 回リハビリテーション科専門医会学術集会準備状況，③第 10 回リハビリテーション科専門医会学術集会代表世話人に関して，④各 SIG 活動報告（小児リハ，基礎研究，脊髄障害，切断・義肢，ポリオ後症候群，痙縮治療），⑤ SIG 設立に関して，⑥リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告，⑦専門医会実技研修支援，⑧専門医間の交流会活動，⑨専門医会研究補助金助成対象者に関してであった。

平成 25 年 11 月 9 日の第 8 回リハビリテーション科専門医会学術集会中に札幌市教育文化会館 1 階大ホールにて定例総会を開催した。議題は①第 9 回リハビリテーション科専門医会学術集会準備状況，②第 10 回リハビリテーション科専門医会学術集会準備状況，③各 SIG 活動報告（小児リハ，基礎研究，脊髄障害，切断・義肢，ポリオ後症候群，痙縮治療，筋電図・臨床神経生理），④ RJN 活動報告，⑤リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告，⑥専門医間の交流会活動報告，⑦専門医会実技研修支援に関して，⑧専門医会研究補助金助成対象者募集であった。その他，幹事会宛に先天性中枢性低換気症候群の問い合わせがあり，小児リハ SIG で回答者を探している件，水間理事長より，後期研修のプログラム募集が 11 月 30 日締切で行われていることの報告があった。

2) 幹事会

平成 25 年 6 月 14 日に東京国際フォーラム会議室 G 410 にて第 1 回幹事会を開催した。議題は①第 8 回リハビリテーション科専門医会学術集会準備状況，②第 9 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，③ RJN 活動報告，④各 SIG 活動報告（小児リハ，基礎研究，脊髄障害，切断・義肢，ポリオ後症候群，痙縮治療，筋電図・臨床神経生理），⑤リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告，⑥専門医会実技研修支援，⑦平成 25 年度予算，⑧新専門医

制度に関してであった。専門医間の交流会活動，その他，第10回リハビリテーション科専門医会学術集会の世話人選任について，笠井幹事が世話人として推薦され，幹事会で承認された。

平成25年11月9日に札幌市教育文化会館3階302研修室にて第2回幹事会を開催した。議題は①第9回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，②第10回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，③RJN活動報告，④各SIG活動報告（小児リハ，基礎研究，脊髄障害，切断・義肢，ポリオ後症候群，痙縮治療，筋電図・臨床神経生理），⑤リハ医療に必要な電子カルテ機能に関するWG活動報告，⑥専門医会実技研修支援，⑦平成26年度予算，⑧新専門医制度，⑨専門医交流活動であった。

平成25年12月22日にTKP東京駅前カンファレンスセンターミーティングルーム4Aにて第3回幹事会を開催した。議題は①専門医会のミッションについて，②総会・臨時総会の運営方法，③専門医会幹事の選出方法についてであった。その他として，第51回学術集会時専門医会企画に関して，近藤幹事長から小児リハに関連する企画の提案があり，認められた。

3) 第8回専門医会学術集会の開催

上述した総会，幹事会とともに，平成25年11月9日，10日に札幌市教育文化会館にて第8回専門医会学術集会が石合純夫代表世話人により開催され，盛会のうちに閉会した。

平成25年度日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科女性医師ネットワーク世話人会 報告

担当理事：浅見豊子

世話人長：藤谷順子

副世話人長：大串 幹

世話人：小口和代，中馬孝容，土岐めぐみ，豊岡志保，永田智子，山口朋子

1. 世話人会の開催

本年度は世話人会2回を開催し，その他，専用掲示板及びメール審議を行った。

2. 活動内容及び報告

1) 位置づけ

専門医会幹事会から独立し，下記の世話人会名称となった。

リハビリテーション科女性医師ネットワーク
Rehabilitation Joy Network (RJN) for Women
Physiatrists

2) 懇親会

第50回日本リハビリテーション医学会学術集会時にランチ会（参加65名），第8回日本リハビリテーション医学会専門医会学術集会時に懇親会（参加35名），日本義肢装具学会学術大会（10月）においてランチ会（参加46名）を開催し，情報交換を行った。

3) RJN セミナー

第8回日本リハビリテーション医学会専門医会学術集会時（2013年11月10日，於：札幌市教育文化会館）に，日本医師会の共催にて，RJN セミナーを開催した。リハビリテーション科女性医師ネットワーク（RJN）企画「リハビリテーション科医師が語る！『患者を活かす仕事』プロフェッショナル紹介セミナー（日本医師会「平成25年度医学生，研修医等をサポートするための会」共催）」と題し，学生・研修医・転科した医師などを含め32名の参加があった。

4) インタビュー企画

第8回インタビュー及び，第9回インタビューを実施した。ゲストとインタビュアーは以下のとおりである。

- | | | | |
|-----|---------|--------|---------|
| 第8回 | ゲスト | 大阪医科大学 | 佐浦先生 |
| | インタビュアー | 中国四国地方 | 土井あかね先生 |
| | | 関東地方 | 笹尾ゆう先生 |
| 第9回 | ゲスト | 昭和大学 | 水間先生 |
| | インタビュアー | 北海道地方 | 白井幹子先生 |
| | | 九州地方 | 溝口恵先生 |

5) インタビュー冊子作成

第1回から第4回までのインタビュー（すでにホームページにて公開）を，勧誘等に使用可能な紙媒体として冊子を作成した。A4，表紙及び口絵カラー40頁（表紙込み）であり，今後，研修施設その他，勧誘の拠点となる施設・人への提供を予定している。

6) ホームページ更新

上記企画の報告，及び，今年度の医学会会員数や専門医数における女性医師の比率などの資料を，ホームページに掲載した。

以 上

貸 借 対 照 表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,070,739	11,906,220	4,164,519
前払金	5,180,100	95,029	5,085,071
前払費用	23,303	22,665	638
未収金	699,930	744,345	△ 44,415
流動資産合計	21,974,072	12,768,259	9,205,813
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2)特定資産			
学術研究助成資産	45,000,000	60,015,041	△ 15,015,041
学術集会事業積立資産	5,000,000	10,000,000	△ 5,000,000
退職給付引当資産	5,967,795	6,154,860	△ 187,065
特定資産合計	55,967,795	76,169,901	△ 20,202,106
(3)その他固定資産			
什器備品	465,304	0	465,304
ソフトウェア	0	213,885	△ 213,885
保証金	1,050,000	1,050,000	0
その他固定資産合計	1,515,304	1,263,885	251,419
固定資産合計	157,483,099	177,433,786	△ 19,950,687
資 産 合 計	179,457,171	190,202,045	△ 10,744,874
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,401,452	6,997,419	404,033
前受金	6,660,000	1,145,000	5,515,000
預り金	424,397	714,127	△ 289,730
未払消費税等	317,900	1,027,600	△ 709,700
流動負債合計	14,803,749	9,884,146	4,919,603
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,967,795	6,154,860	△ 187,065
固定負債合計	5,967,795	6,154,860	△ 187,065
負債合計	20,771,544	16,039,006	4,732,538
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産	158,685,627	174,163,039	△ 15,477,412
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(50,000,000)	(70,015,041)	(20,015,041)
正味財産合計	158,685,627	174,163,039	△ 15,477,412
負債及び正味財産合計	179,457,171	190,202,045	△ 10,744,874

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	122,464,000	118,204,000	4,260,000
正会員受取会費	120,264,000	116,004,000	4,260,000
賛助会員受取会費	2,200,000	2,200,000	0
② 事業収益	176,451,110	173,874,669	2,576,441
学術集会事業収益	106,201,948	82,266,342	23,935,606
会誌等発行事業収益	9,906,562	10,596,632	△ 690,070
専門医等認定事業収益	19,450,000	31,350,000	△ 11,900,000
研修会事業収益	8,329,000	6,387,000	1,942,000
専門医会収益	13,140,200	16,824,695	△ 3,684,495
50周年事業協賛収益	19,423,400	26,450,000	△ 7,026,600
③ 基本財産運用益	65,351	242,708	△ 177,357
基本財産受取利息	49,999	224,660	△ 174,660
学術研究助成基金受取利息	15,352	18,049	△ 2,697
④ 受取補助金等	299,952	13,523,655	△ 13,223,703
受取国庫補助金	0	13,225,000	△ 13,225,000
受取民間助成金	299,952	298,655	1,297
⑤ 受取寄附金	3,580,000	1,890,000	1,690,000
受取寄附金	3,580,000	1,890,000	1,690,000
⑥ 雑収益	1,943,071	1,487,105	455,966
受取利息	13,663	9,423	4,240
雑収益	1,929,408	1,477,682	451,726
経常収益計	304,803,484	309,222,137	△ 4,418,653
(2) 経常費用			
① 事業費	279,315,005	277,746,329	1,568,676
学術集会事業費	101,074,100	76,131,235	24,942,865
抄録集作成費	5,223,507	5,224,588	△ 1,081
会誌発行費	40,499,615	41,215,156	△ 715,541
リハニュース発行費	2,206,095	5,182,263	△ 2,976,528
各種委員会旅費・会場費	8,319,873	9,159,443	△ 839,570
各種委員会経費	3,733,395	1,600,563	2,132,832
専門医等認定事業費	12,734,797	14,974,999	△ 2,240,202
実習研修事業費	715,695	1,171,363	△ 455,668
研修会事業費	6,338,514	6,678,200	△ 339,686
海外研修助成金	501,290	1,250,000	△ 748,710
優秀論文表彰金	400,000	400,000	0
リハ啓発活動事業費	1,795,380	1,891,481	△ 96,101
地方会事務局運営補助金	7,960,000	7,960,000	0
診療がトライ策定費	1,683,647	4,532,741	△ 2,849,094
専門医会経費	14,355,890	17,053,572	△ 2,697,682
DVD作製費	0	2,299,500	△ 2,299,500
補助事業費	0	13,225,000	△ 13,225,000
50周年事業活動費	31,832,674	27,141,383	4,691,291
給料手当	24,225,122	24,300,244	△ 75,122
退職給付費用	1,088,264	913,434	174,830
福利厚生費	3,416,375	3,574,112	△ 157,737
旅費交通費	183,955	783,056	△ 599,101
ホーム-ジ-維持管理費	530,650	535,997	△ 5,347
通信運搬費	1,096,041	1,121,298	△ 25,257
情報関連整備費	994,347	747,751	246,596
什器備品費	168,231	678,409	△ 510,178
消耗品費	561,334	388,569	172,765
印刷製本費	957,504	940,587	16,917
光熱水料費	384,033	368,381	15,652
賃借料	3,730,309	3,713,636	16,673
租税公課	749,925	938,610	△ 188,685
支払手数料	1,049,213	1,072,233	△ 23,020
減価償却費	228,807	44,743	184,064
雑費	576,423	533,422	43,001

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管理費	40,965,891	39,748,183	1,217,708
給料手当	11,931,776	11,968,777	△ 37,001
退職給付費用	536,011	449,901	86,110
福利厚生費	1,682,692	1,760,383	△ 77,691
代議員総会費	2,931,070	692,433	2,238,637
理事会費	9,005,516	8,203,016	802,500
旅費交通費	90,605	385,684	△ 295,079
顧問料	882,000	882,000	0
ホームページ維持管理費	261,365	263,998	△ 2,633
通信運搬費	539,841	552,281	△ 12,440
情報関連整備費	489,753	368,295	121,458
什器備品費	82,860	334,142	△ 251,282
消耗品費	276,478	191,385	85,093
印刷製本費	471,606	463,274	8,332
光熱水料費	189,151	181,442	7,709
賃借料	1,837,316	1,829,104	8,212
租税公課	83,325	104,290	△ 20,965
負担金	6,965,525	7,837,550	△ 872,025
事務委託費	1,890,000	1,890,000	0
50周年記念事業費	0	577,346	△ 577,346
支払手数料	516,777	528,115	△ 11,338
減価償却費	18,314	22,037	△ 3,723
雑費	283,910	262,730	21,180
経常費用計	320,280,896	317,494,512	2,786,384
当期経常増減額	△ 15,477,412	△ 8,272,375	△ 7,205,037
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,477,412	△ 8,272,375	△ 7,205,037
一般正味財産期首残高	174,163,039	182,435,414	△ 8,272,375
一般正味財産期末残高	158,685,627	174,163,039	△ 15,477,412
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	158,685,627	174,163,039	△ 15,477,412

正味財産増減計算書(予算比較)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

	予算額	決算額	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	120,400,000	122,464,000	△ 2,064,000
正会員受取会費	118,200,000	120,264,000	△ 2,064,000
賛助会員受取会費	2,200,000	2,200,000	0
② 事業収益	156,234,000	176,451,110	△ 20,217,110
学術集會事業収益	99,766,000	106,201,948	△ 6,435,948
会誌等発行事業収益	11,680,000	9,906,562	1,773,438
専門医等認定事業収益	18,320,000	19,450,000	△ 1,130,000
研修会事業収益	4,170,000	8,329,000	△ 4,159,000
専門医会収益	12,298,000	13,140,200	△ 842,200
50周年事業協賛収益	10,000,000	19,423,400	△ 9,423,400
③ 基本財産運用益	418,000	65,351	352,649
基本財産受取利息	400,000	49,999	350,001
学術研究助成基金受取利息	18,000	15,352	2,648
④ 受取補助金等	0	299,952	△ 299,952
受取民間助成金	0	299,952	△ 299,952
⑤ 受取寄附金	0	3,580,000	△ 3,580,000
受取寄附金	0	3,580,000	△ 3,580,000
⑥ 雑収益	300,000	1,943,071	△ 1,643,071
受取利息	10,000	13,663	△ 3,663
雑収益	290,000	1,929,408	△ 1,639,408
経常収益計	277,352,000	304,803,484	△ 27,451,484
(2) 経常費用			
① 事業費	260,606,000	279,315,005	△ 18,709,005
学術集會事業費	99,766,000	101,074,100	△ 1,308,100
抄録集作成費	5,000,000	5,223,507	△ 223,507
会誌発行費	36,000,000	40,499,615	△ 4,499,615
リハニュース発行費	1,350,000	2,206,095	△ 856,095
各種委員会旅費・会場費	11,201,000	8,319,873	2,881,127
各種委員会経費	6,880,000	3,733,395	3,146,605
専門医等認定事業費	13,261,000	12,734,797	526,203
実習研修事業費	2,000,000	715,695	1,284,305
研修会事業費	6,488,000	6,338,514	149,486
海外研修助成金	3,400,000	501,290	2,898,710
優秀論文表彰金	400,000	400,000	0
リハ啓発活動事業費	1,500,000	1,795,380	△ 295,380
地方会事務局運営補助金	7,960,000	7,960,000	0
診療が「ト」ラ「ン」策定費	3,634,000	1,683,647	1,950,353
専門医会経費	9,978,000	14,355,890	△ 4,377,890
50周年事業活動費	14,056,000	31,832,674	△ 17,776,674
給料手当	23,455,000	24,225,122	△ 770,122
退職給付費用	670,000	1,088,264	△ 418,264
福利厚生費	3,015,000	3,416,375	△ 401,375
旅費交通費	67,000	183,955	△ 116,955
ホーム「シ」維持管理費	1,492,000	530,650	961,350
通信運搬費	1,005,000	1,096,041	△ 91,041
情報関連整備費	556,000	994,347	△ 438,347
什器備品費	201,000	168,231	32,769
消耗品費	235,000	561,334	△ 326,334
印刷製本費	1,005,000	957,504	47,496
光熱水料費	368,000	384,033	△ 16,033
賃借料	3,531,000	3,730,309	△ 199,309
租税公課	450,000	749,925	△ 299,925
支払手数料	1,072,000	1,049,213	22,787
減価償却費	208,000	228,807	△ 20,807
雑費	402,000	576,423	△ 174,423

正味財産増減計算書（予算比較）

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

（単位：円）

	予算額	決算額	増減
② 管理費	32,018,000	40,965,891	△ 8,947,891
給料手当	11,545,000	11,931,776	△ 386,776
退職給付費用	330,000	536,011	△ 206,011
福利厚生費	1,485,000	1,682,692	△ 197,692
代議員総会費	1,200,000	2,931,070	△ 1,731,070
理事会費	6,300,000	9,005,516	△ 2,705,516
旅費交通費	33,000	90,605	△ 57,605
顧問料	882,000	882,000	0
ホームページ維持管理費	734,000	261,365	472,635
通信運搬費	495,000	539,841	△ 44,841
情報関連整備費	274,000	489,753	△ 215,753
什器備品費	99,000	82,860	16,140
消耗品費	115,000	276,478	△ 161,478
印刷製本費	495,000	471,606	23,394
光熱水料費	182,000	189,151	△ 7,151
賃借料	1,739,000	1,837,316	△ 98,316
租税公課	50,000	83,325	△ 33,325
負担金	3,436,000	6,965,525	△ 3,529,525
事務委託費	1,890,000	1,890,000	0
支払手数料	528,000	516,777	11,223
減価償却費	8,000	18,314	△ 10,314
雑費	198,000	283,910	△ 85,910
経常費用計	292,624,000	320,280,896	△ 27,656,896
当期経常増減額	△ 15,272,000	△ 15,477,412	205,412
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,272,000	△ 15,477,412	205,412
一般正味財産期首残高	174,163,039	174,163,039	0
一般正味財産期末残高	158,891,039	158,685,627	205,412
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	158,891,039	158,685,627	205,412

正味財産増減計算書内訳表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	内部取引消去	合 計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	61,232,000	61,232,000		122,464,000
正会員受取会費	60,132,000	60,132,000		120,264,000
賛助会員受取会費	1,100,000	1,100,000		2,200,000
② 事業収益	176,451,110	0		176,451,110
学術集会事業収益	106,201,948			106,201,948
会誌等発行事業収益	9,906,562			9,906,562
専門医等認定事業収益	19,450,000			19,450,000
研修会事業収益	8,329,000			8,329,000
専門医会収益	13,140,200			13,140,200
50周年事業協賛収益	19,423,400			19,423,400
③ 基本財産運用益	15,352	49,999		65,351
基本財産受取利息		49,999		49,999
学術研究助成基金受取利息	15,352			15,352
④ 受取補助金等	299,952	0		299,952
受取民間助成金	299,952			299,952
⑤ 受取寄附金	3,580,000	0		3,580,000
受取寄附金	3,580,000			3,580,000
⑥ 雑収益	1,929,408	13,663		1,943,071
受取利息		13,663		13,663
雑収益	1,929,408			1,929,408
経常収益計	243,507,822	61,295,662		304,803,484
(2) 経常費用				
① 事業費	279,315,005			279,315,005
学術集会事業費	101,074,100			101,074,100
抄録集作成費	5,223,507			5,223,507
会誌発行費	40,499,615			40,499,615
リハニュース発行費	2,206,095			2,206,095
各種委員会旅費・会場費	8,319,873			8,319,873
各種委員会経費	3,733,395			3,733,395
専門医等認定事業費	12,734,797			12,734,797
実習研修事業費	715,695			715,695
研修会事業費	6,338,514			6,338,514
海外研修助成金	501,290			501,290
優秀論文表彰金	400,000			400,000
リハ啓発活動事業費	1,795,380			1,795,380
地方会事務局運営補助金	7,960,000			7,960,000
診療カ`パ`ラ`ン`策定費	1,683,647			1,683,647
専門医会経費	14,355,890			14,355,890
DVD作製費	191,625			191,625
50周年事業活動費	31,832,674			31,832,674
給料手当	24,225,122			24,225,122
退職給付費用	1,088,264			1,088,264
福利厚生費	3,416,375			3,416,375
旅費交通費	183,955			183,955
ホ`ム`ペ`-`シ`維持管理費	530,650			530,650
通信運搬費	1,096,041			1,096,041
情報関連整備費	994,347			994,347
什器備品費	168,231			168,231
消耗品費	561,334			561,334
印刷製本費	957,504			957,504
光熱水料費	384,033			384,033
賃借料	3,730,309			3,730,309
租税公課	749,925			749,925
支払手数料	1,049,213			1,049,213
減価償却費	37,182			37,182
雑費	576,423			576,423

正味財産増減計算書内訳表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	内部取引消去	合 計
② 管理費		40,965,891		40,965,891
給料手当		11,931,776		11,931,776
退職給付費用		536,011		536,011
福利厚生費		1,682,692		1,682,692
代議員総会費		2,931,070		2,931,070
理事会費		9,005,516		9,005,516
旅費交通費		90,605		90,605
顧問料		882,000		882,000
ホームページ維持管理費		261,365		261,365
通信運搬費		539,841		539,841
情報関連整備費		489,753		489,753
什器備品費		82,860		82,860
消耗品費		276,478		276,478
印刷製本費		471,606		471,606
光熱水料費		189,151		189,151
貸借料		1,837,316		1,837,316
租税公課		83,325		83,325
負担金		6,965,525		6,965,525
事務委託費		1,890,000		1,890,000
支払手数料		516,777		516,777
減価償却費		18,314		18,314
雑費		283,910		283,910
経常費用計	279,315,005	40,965,891		320,280,896
当期経常増減額	△ 35,807,183	20,329,771		△ 15,477,412
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 35,807,183	20,329,771		△ 15,477,412
一般正味財産期首残高				174,163,039
一般正味財産期末残高				158,685,627
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III. 正味財産期末残高				158,685,627

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 会計基準
「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 引当金の計上基準について
退職給付引当金……職員が全員退職した場合の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理について
消費税等の会計処理は、税込方式による。
- (4) 貸借対照表内訳表について
当社は、公益事業以外の事業を行っていないため、貸借対照表内訳表は作成しておりません。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
学研究助成資産	60,015,041	0	15,015,041	45,000,000
学術集会事業積立資産	10,000,000	0	5,000,000	5,000,000
退職給付引当資産	6,154,860	0	187,065	5,967,795
小計	76,169,901	0	20,202,106	55,967,795
合計	176,169,901	0	20,202,106	155,967,795

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち、指定正味財産からの充当額)	(うち、一般正味財産からの充当額)	(うち、負債に対応する金額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
小計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
特定資産				
学研究助成資産	45,000,000	(0)	(45,000,000)	—
学術集会事業積立資産	5,000,000	(0)	(5,000,000)	—
退職給付引当資産	5,967,795	(0)	(0)	(5,967,795)
小計	55,967,795	(0)	(50,000,000)	(5,967,795)
合計	155,967,795	(0)	(150,000,000)	(5,967,795)

財 産 目 録

平成26年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現 金	現金手許残高		運転資金として	123,551
預 金	普通預金	三菱UFJ銀行池袋東口支店	運転資金として	3,239,347
		三井住友銀行千川支店		455,261
		東京シティ信用金庫神楽坂支店		1,528,470
	通常貯金		運転資金として	58,122
	ゆうちょ銀行		運転資金として	10,665,988
	郵便振替口座			
	ゆうちょ銀行			
未 収 金	(株)医学映像センター他		DVD著作権料他	699,930
前 払 金			第51回学術集会費用他	5,180,100
前 払 費 用	さくらインターネット(株)		レンタルサーバー利用料他	23,303
流動資産合計				21,974,072
(固定資産)				
基本財産				
定 期 預 金	三菱UFJ信託銀行池袋支店		管理運営用財産であり、運用益を管理運営費の財源としている	100,000,000
特定資産				
学 術 研 究 助 成 積 立 資 産	定期預金	三菱UFJ銀行池袋東口支店	公益目的事業の財源として管理・運用している。	45,000,000
学 術 集 会 事 業 積 立 資 産	普通預金	三井住友銀行千川支店	公益目的事業の財源として管理・運用している。	5,000,000
退職給付引当資産	普通預金	東京シティ信用金庫神楽坂支店	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	5,967,795
その他				
固 定 資 産	什器備品	サーバー	共用財産であり、実態に応じ公益目的事業に67%、管理運営業務に33%使用している。	465,304
	保 証 金	(株)神楽坂ビル	共用財産であり、実態に応じ公益目的事業に67%、管理運営業務に33%使用している。	1,050,000
固定資産合計				157,483,099
資産合計				179,457,171
(流動負債)				
未 払 金	(一財)学会誌刊行センター他		会誌発行費他	7,401,452
前 受 金	会員他		研修会参加費	6,660,000
預 り 金	四谷税務署他		職員他に対する源泉所得税他	424,397
未 払 消 費 税 等	四谷税務署		消費税及び地方消費税	317,900
流動負債合計				14,803,749
(固定負債)				
退職給付引当金	職員		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	5,967,795
固定負債合計				5,967,795
負債合計				20,771,544
正味財産				158,685,627

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	6,154,860	0	187,065		5,967,795

監査報告書

平成26年4月26日

公益社団法人
日本リハビリテーション医学会
理事長 水間正澄 殿

公益社団法人
日本リハビリテーション医学会

監事 佐田幹男 

公益社団法人
日本リハビリテーション医学会

監事 久住俊一 

公益社団法人
日本リハビリテーション医学会

監事 木村彰男 

私たち監事は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じ説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属証明書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

平成 26 年度 事業計画

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

【事業方針】

1. 学術活動の推進

- ①第 51 回学術集会を開催する。
- ②専門医会学術集会を開催する。
- ③地方会学術集会の開催を支援する。
- ④学会誌を刊行する。

2. 新専門医制度への対応

- ①新専門医制度に対応するための取り組みを推進する。
- ②専門医・認定臨床医育成のための教育を継続的に検討する。

3. リハビリテーション医学教育の充実

- ①卒前教育の最新状況を把握し、専門医制度基本領域にふさわしい卒前教育内容を吟味する。
- ②卒前教育に必要な講座設置のあり方を提言し、関係機関に働きかける。
- ③専門医制度基本領域にふさわしい研修医の研修内容を吟味し、関係機関に提案する。
- ④医学生、研修医へのセミナー実施と広報の充実を図る。
- ⑤卒後教育、生涯教育（認定臨床医、専門医、指導医）のための研修を充実する。
- ⑥一般医家に対するリハビリテーション医学啓発を推進する。
- ⑦関連専門職教育推進を支援する。

4. 調査・研究事業の推進

- ①診療ガイドラインを計画的・系統的・持続的に策定、改訂する。
- ②データマネジメントシステムを合理的に整備する。
- ③競争的資金を導入し、多施設共同研究を推進する。

5. 社会保障制度改革への対応と提言

- ①関連団体との連携体制を再構築して情報交換を強化する。
- ②制度体系について中期的展望に立った提言を行う。
- ③診療報酬改定に向けた対応について検討・実施する。
- ④時代に即応した医療福祉システムを展望し充実案を提案する。

6. 社会への貢献

- ①リハビリテーション医療の充実・普及を図る。

- ②障害者の社会参加を促進する。
- ③市民啓発事業を実施する。
- ④脳卒中对策基本法の成立に向けた活動を継続する。
- ⑤他学協会と協力して大災害への支援体制作りを行う。

7. 国際化の推進

- ①各国研究者間の交流を促進する。
- ②アジア地域との連携と交流を促進する。
- ③国際学会への対応を強化する。
- ④国際学会招致の準備を行う。

8. 学会財政基盤の見直し強化

- ①学会財政の立て直し強化に向けた取り組みを行う。

9. 学会組織の見直しと充実

- ①委員会機能を整備・強化する。
- ②危機管理体制を整備する。
- ③事務局機能を見直す。
- ④出版物発行の在り方について総合的に見直す。
- ⑤専門医会の在り方を見直す。
- ⑥地方会活動を支援する。

10. 50 周年記念事業の実行

- ①学会の活動性の向上、社会啓発、国際化の骨子とした記念事業を継続する。

11. その他

- ①本医学会の目的に沿った事業を行う。

【事業計画】

1. 学術集会の開催

- 1) 第 51 回日本リハビリテーション医学会学術集会を、平成 26 年 6 月 5 日、6 日、7 日の 3 日間、名古屋国際会議場に於いて開催する。
- 2) 第 9 回専門医会学術集会を、平成 26 年 11 月 15 日、16 日の 2 日間、鹿児島市民文化ホールに於いて開催する。

2. 諸会議

- 1) 代議員総会 1 回
- 2) 理事会
- 3) 倫理委員会
委員会所管事例の検討
- 4) 専門医会
 - ① 専門医会総会の開催
 - ② 専門医会学術集会の開催
 - ③ 年次学術集会における専門医会企画
 - ④ SIG 活動
 - ⑤ WG 活動

- ⑥ 専門医間の交流促進
 - ⑦ 専門医会実技研修支援
 - ⑧ 学会データベースを利用した研究推進
 - ⑨ 専門医会研究補助金
- 5) 各種委員会
- 編集委員会他 15 委員会
- (1) 編集委員会
- ① 学術集会での発表内容の向上, 卒前・卒後教育の充実, エビデンス構築の基盤整備等に寄与すべく, 質の高い学会誌を発行する。
 - ② 学会の広報活動に寄与すべく, 各種情報を学会誌に掲載するとともに学会誌の電子化・国際化及び英文学会誌の取り組みを一層進める。
- (2) 評価・用語委員会
- ① 改訂第 8 版用語集編纂に向けた Web 版リハビリテーション医学用語事典の運用と内容の充実。
 - ② 50 周年記念事業における Web 版リハビリテーション医学用語事典の一般向け解説の公開を引き続き推進する。
 - ③ 評価法調査
 - ④ 委員会としての広報の充実
 - ⑤ 他委員会との連携の強化
- (3) 教育委員会
- <育成>
- ① 卒前教育カリキュラムと初期臨床研修
 - ② カリキュラムの変更に伴う研修手帳の印刷
 - ③ 新専門医制度に向けての研修カリキュラムと各研修施設研修プログラムの検討
- <生涯教育>
- ① 生涯教育研修会
 - ② 実習研修会
 - ③ 病態別実践リハビリテーション研修会
 - ④ 一般医家リハビリテーション研修会 (非会員医師対象の基礎講座)
 - ⑤ 専門医受験支援講習会
 - ⑥ 指導医研修会
 - ⑦ 医療倫理安全に関する講習などの専門医受験, 更新講習会
 - ⑧ 診療報酬改定等に呼応した各種研修会
- (4) 資格認定委員会
- ① 専門医の認定及び更新に関すること
 - ② 認定臨床医の認定及び更新に関すること
 - ③ 指導医の認定及び更新に関すること
 - ④ 資格認定・更新に関する管理システム構築に関すること
- ⑤ 新しい専門医制度に関すること
- (5) 施設認定委員会
- ① 研修施設の認定及び更新に関すること
 - ② 新しい専門医制度に関すること
- (6) 試験委員会
- ① 専門医認定, 臨床認定医認定のための筆記試験問題作成 (画像問題・図表を含む)
 - ② 専門医認定のための口頭試験問題作成同問題の採点基準の作成
 - ③ 口頭試験問題の出題形式, 出題内容, 出題方法の検討
 - ④ 専門医認定, 臨床認定医認定のための試験の実施
 - ⑤ 実施した試験問題の適切・不適切に関する検討
 - ⑥ 実施した試験問題や予備問題の保存・管理
 - ⑦ 新作問題作成および依頼方法の検討
 - ⑧ 学術集会における問題作成ワークショップの開催
 - ⑨ 専門医認定試験料の適正化
 - ⑩ 専門医・臨床認定医試験会場の見直し
- (7) 診療ガイドライン委員会
- 1) ガイドラインコア委員会
- ① 各策定委員会の活動を長期的視野に立って計画・調整
 - ② 策定委員会によるガイドライン策定の支援
 - ③ エビデンスが欠けている領域について学会として取り組むべき研究テーマの提案
- ④ ガイドラインの普及
- 2) 脳卒中治療ガイドライン策定委員会
- ① ガイドラインの策定
- 3) 神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会
- ① ガイドラインの策定
- (8) 社会保険等委員会
- ① 医療保険に関する業務
 - ② 介護保険に関する業務
 - ③ リハビリテーション診療報酬体系を検討する業務
 - ④ がんリハビリテーション研修会の業務
 - ⑤ 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会の業務
- (9) 障害保健福祉委員会
- ① 地域リハビリテーションのあり方とリハビリテーション科医の役割についての検討
 - ② 障害者スポーツに関する情報の提供

- ③障害者施策の動向と障がい児／者を取りまく関連制度等の検討
 - (10) 関連機器委員会
 - ①リハビリテーション機器データベース化の準備
 - ②医療ニーズの高い未承認医療機器などの早期導入に関する要望提案
 - ③JISの見直し調査・検討
 - (11) 関連専門職委員会
 - ①リハ科専門医と関連専門職種養成学校とのマッチング
 - ②アンケートに基づくリハ科専門医の在り方の検討
 - ③関連専門職種の情報収集
 - ④臨床心理士国家資格化への後援
 - ⑤医療研修推進財団への協力
 - ⑥人材育成
 - (12) 会則検討委員会
 - ①定款及び定款施行細則に適合した各種規則，内規，申し合わせの改正を行う
 - ②医師以外の正会員候補者の入会審査を適正に行う
 - ③諸会則に関わる必要事項の検討を行う
 - (13) 広報委員会
 - ①広報誌の発刊
 - ②ホームページの管理改編
 - ③会員用 Web システムの有効活用，IT 化に向けた協議
 - ④リクルート用のリハビリテーション医学ガイドの改訂
 - ⑤リハビリテーション医学の普及・発展へ向けた啓発
 - (14) 国際委員会
 - ①日本リハビリテーション医学会員海外研修助成プログラム
 - ②外国人リハビリテーション医師対象の短期交流助成プログラム
 - ③Honorary/Corresponding Member の拡充，活動内容見直し継続
 - ④英文ホームページの充実
 - ⑤英文 annual report の作成と H/C Member への送付
 - ⑥国際会議の招致準備
 - (15) データマネジメント委員会
 - ①日本リハビリテーション・データベース協議会 (JARD) を通じたデータマネジメント事業
 - ②外部資金の獲得とそれを活用した共同研究の検討
 - ③リハビリテーション患者データ集の出版の検討 (50 周年事業として)
 - (16) システム委員会
 - ①現行のリハビリテーション医学会システムの保守，改良
 - ・会員管理・掲示板・メールマガジン・アンケート等に生じた不具合対応
 - ・ログイン者数増加への啓発活動
 - ②新たなシステムの立つインフラの検討
 - ・IC カード導入による学会参加，研修ポイント，会費等の電子決済などの検討
 - ・e-learning などの導入
 - (17) 特別委員会
 - ①設立 50 周年記念事業実行委員会
 - ②専門医制度対策委員会
 - ③刊行物の在り方検討委員会
 - ④財務委員会
 - (18) リハビリテーション科女性医師ネットワーク
 - ①リハビリテーション科広報・会員・専門医数増加への支援活動
 - ②女性リハビリテーション医を中心とした会員の交流・親睦促進
 - ③他学会女性医師との連携
- 3. 新専門医制度に向けた取り組み**
- 専門医制度対策委員会を中心に，新専門医制度に対応する研修カリキュラム，研修プログラム等の整備を進める。
- 4. 財政基盤の立て直し**
- 財務委員会を立ちあげ，財政状況の分析及び検討を行い，安定した財政基盤の確立を目指す。
- 5. 会誌の発行**
- 会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」を年 13 号（第 51 巻第 4 号～第 12 号，特別号，第 52 巻第 1 号～第 3 号），1 号あたり約 10,000 部を発行する。また，学会誌のあり方について検討する。
- 英文誌の在り方について検討し，発行に向けた取り組みを行う。
- 6. 広報誌の発行**
- 広報誌「日本リハビリテーション医学会ニュース」(リハニュース)を PDF 形式で発行する。また，リクルート用のリハビリテーション医学ガイドを改定・発行する。

7. ホームページの管理運営

- 1) 掲載内容の更新, 追加などを実施する。(適宜内容の見直しやトップページを含めた内容の整理を行う。)
- 2) 理事会, 各委員会, 専門医会と連絡を密にして, コンテンツを充実する。

8. 教育及び研修

1) 実習研修会

筋電図, 脊損尿路, 小児, 福祉/地域, 動作解析, 義手, 嚥下, 職業, 医療コミュニケーションの9種10研修会を開催する。

2) 学術集会研修会

第51回日本リハビリテーション医学会学術集会を, 平成26年6月5日, 6日, 7日の3日間, 名古屋国際会議場に於いて開催する。

3) 専門医会学術集会研修会

平成26年11月15日, 16日の2日間, 鹿児島市民文化ホールに於いて開催する。

4) 病態別実践リハビリテーション医学研修会

「骨関節障害」「神経系障害」「内部障害」の3研修会を開催する。

5) 一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会

一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会を開催する。

6) 医学生リハビリテーションセミナー

医学生のためのリハビリテーションセミナーを開催する。

7) リハビリテーション処方に必要な研修会

診療報酬の改定に合わせ, 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会を開催する。

9. 専門医の認定

専門医(リハビリテーション科専門医)の認定審査を行う。

10. 認定臨床医の認定

認定臨床医の審査認定を行う。

11. 指導医の認定

申請に基づき指導医の認定審査を行う。

12. 指導医の資格更新

指導医の資格更新審査を行う。

13. 研修施設の認定

申請に基づき研修施設の認定審査を行う。

14. 研修施設の資格更新

研修施設の資格更新を行う。

15. 専門医の資格更新

専門医の資格更新審査を行う。

16. 認定臨床医の資格更新

認定臨床医の資格更新審査を行う。

17. リハ医学啓発活動事業

各地方会で市民公開講座等を開催し, 広くリハビリテーション医学の啓発活動を行う。

18. 学術研究助成

- 1) 優秀論文への助成
- 2) 若手研究者への海外研修助成
- 3) 外国人リハビリテーション医への交流研修助成
- 4) 専門医会研究補助金

19. 国際リハビリテーション関連

- 1) ISPRM, AOSPRM等の活動に参加する。
- 2) アジア地域での交流活動を行う。
- 3) リハビリテーション国際会議を招致する準備を進める。

20. 利益相反マネージメントの推進

利益相反マネージメントの啓蒙促進を図る。

21. その他

リハビリテーション関連団体の主催する各種事業の後援, 協賛等を行う。

収支予算書(事業別区分経理の内訳表)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	61,100,000	61,100,000	0	122,200,000
正会員受取会費	60,000,000	60,000,000		120,000,000
賛助会員受取会費	1,100,000	1,100,000		2,200,000
事業収益	185,787,000	0	0	185,787,000
学術集会事業収益	113,532,000			113,532,000
学術集会収益	112,020,000			
抄録号広告収益	1,512,000			
会誌等発行事業収益	9,000,000			9,000,000
専門医等認定事業収益	29,330,000			29,330,000
審査料	7,330,000			
登録料	3,000,000			
更新料	19,000,000			
研修会事業収益	22,005,000			22,005,000
生涯教育研修会認定料	900,000			
病態別実践リハ研修会	3,735,000			
一般医家リハ研修会	1,620,000			
急性期リハ医師研修会	15,750,000			
専門医会収益	11,920,000			11,920,000
基本財産等運用収益	15,000	230,000	0	245,000
基本財産受取利息		230,000		230,000
学術研究助成基金受取利息	15,000			15,000
受取助成金等	300,000	0	0	300,000
受取民間助成金	300,000			300,000
受取寄附金	5,000,000	0	0	5,000,000
受取寄附金	5,000,000	0		5,000,000
雑収益	300,000	10,000	0	310,000
受取利息		10,000		10,000
雑収益	300,000			300,000
経常収益計	252,502,000	61,340,000	0	313,842,000
(2) 経常費用				
事業費	258,696,000		0	258,696,000
学術集会事業費	103,200,000			103,200,000
抄録集作成費	8,320,000			8,320,000
会誌発行費	29,504,000			29,504,000
リハニュース発行費	1,344,000			1,344,000
各種委員会旅費・会場費	7,075,000			7,075,000
各種委員会経費	4,284,000			4,284,000
専門医等認定事業	13,975,000			13,975,000
実習研修事業費	500,000			500,000
研修会事業費	18,378,000			18,378,000
初期研修医等医師向け研修会	1,322,000			
病態別実践リハ研修会	3,732,000			
一般医家リハ研修会	1,620,000			
急性期リハ医師研修会	11,704,000			
海外研修助成金	1,300,000			1,300,000
優秀論文表彰金	400,000			400,000
リハ啓発活動事業費	1,500,000			1,500,000
地方会事務局運営補助金	7,960,000			7,960,000
診療ガイドライン策定費	1,035,000			1,035,000
専門医学会学術集会経費	11,360,000			11,360,000
専門医会経費	1,457,000			1,457,000
RJN経費	690,000			690,000
50周年事業活動費	4,875,000			4,875,000
50周年事業行事費	1,000,000			1,000,000
給料手当	22,771,000			22,771,000
福利厚生費	3,684,000			3,684,000
退職給付費用	921,000			921,000
旅費交通費	453,000			453,000
ホームページ維持管理費	1,005,000			1,005,000

収支予算書(事業別区分経理の内訳表)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
通信運搬費	1,258,000			1,258,000
情報関連整備費	285,000			285,000
什器備品費	415,000			415,000
消耗品費	402,000			402,000
印刷製本費	972,000			972,000
光熱水料費	415,000			415,000
賃借料	3,820,000			3,820,000
租税公課	1,800,000			1,800,000
支払手数料	1,072,000			1,072,000
減価償却費	67,000			67,000
雑費	1,199,000			1,199,000
管理費		38,582,000		38,582,000
給料手当		11,216,000		11,216,000
福利厚生費		1,815,000		1,815,000
退職給付費用		454,000		454,000
代議員総会費		2,121,000		2,121,000
選挙関係費用		960,000		960,000
理事会費		6,437,000		6,437,000
旅費交通費		223,000		223,000
顧問料		907,000		907,000
ホームページ維持管理費		495,000		495,000
通信運搬費		620,000		620,000
情報関連整備費		141,000		141,000
什器備品費		205,000		205,000
消耗品費		198,000		198,000
印刷製本費		478,000		478,000
光熱水料費		205,000		205,000
賃借料		1,882,000		1,882,000
租税公課		200,000		200,000
負担金		6,900,000		6,900,000
事務委託費		1,944,000		1,944,000
支払手数料		558,000		558,000
減価償却費		33,000		33,000
雑費		590,000		590,000
経常費用計	258,696,000	38,582,000	0	297,278,000
当期経常増減額	△ 6,194,000	22,758,000	0	16,564,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	22,758,000	△ 22,758,000		0
当期一般正味財産増減額	16,564,000	0	0	16,564,000
一般正味財産期首残高				158,891,039
一般正味財産期末残高				175,455,039
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
Ⅲ 正味財産期末残高				175,455,039